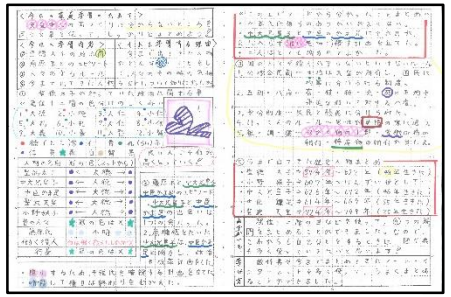
（様式１）

「家庭学習ＭＧＣ」実践例

建昌小学校



【目的をもった自学帳へ】

○　家庭学習の基本的な考え方

★　系統性のある家庭学習になるようにしている。
- (1)　全学年の家庭学習の内容についての周知（保護者へ）
- (2)　職員間での共通理解や学年間での内容確認

★　家庭との連携を図るようにしている。
- (1)　音読カードへのサインや自学帳へのサインによる見届け
- (2)　答え合わせ（低学年で解答を配付した場合）

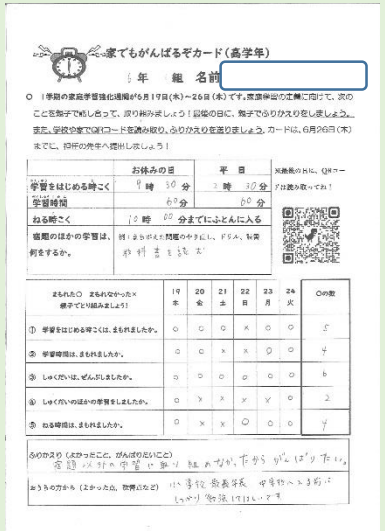
★　家庭学習での振り返りを行うようにしている。（高学年）
- (1)　何の学習を行うかの計画立て
- (2)　家庭学習の内容に対する振り返り

建昌小の家庭学習は，以下のような内容を基本として，現在取り組んでいたり，今年度取り組んだりする予定です。

学年ごとに基本的な家庭学習の内容を設定していますが，児童の実態やテスト前などの復習，担任の個性を生かした取組など基本的な内容以外のものを行う場合がありますので，ご了承ください。

なお，全学年で保護者の皆様には，音読サインをお願いしていますので，ご協力よろしくお願いします。

	家庭学習内容	目標時間	家庭へのお願い
1年	①音読 ②漢字ノート(80字)※2学期以降 ③プリント(国算)1,2枚 ④週末は日記　※10月頃から	40分	・音読カードのサイン ・解答を事前に配布しているプリントへの○つけ ・宿題の見届け
2年	①漢字ノート(1学期50字，2学期「下の教科書」から84字) ②算数プリント ③国語プリント ④日記 ⑤音読カード ※平日は①～④から2つ，週末は3つ	40分	・音読カードへのサイン ・解答を事前に配布しているプリントへの○つけ ・宿題の見届け

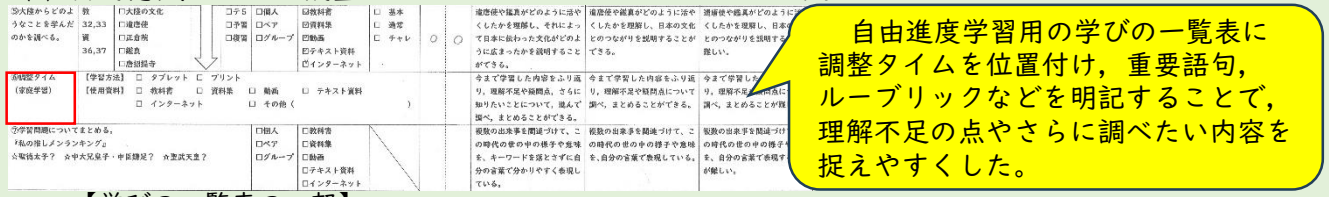


右：家でもがんばるぞカード（家庭学習の定着と学習の様子を振り返る目的）
左：学年ごとに家庭学習の内容を揃え，系統性のある家庭学習にし，保護者に内容を周知したもの

○　ＭＧＣの取組

【小学６年生　社会のＭＧＣ】
「自己の学びを調整，持続するために，単元全体をふり返った家庭学習」

★ポイント
- (1) 指導計画の中に家庭学習で行う『調整タイム』を位置付けた。
  （授業６時間＋調整タイム１時間の計７時間の指導計画に変更）
- (2) 学びの一覧表や教師の働きかけによる調整タイムの内容の自己選択・自己決定
- (3) 目的意識をもった調整タイムとなるようなテキストの工夫



【学びの一覧表の一部】

自由進度学習用の学びの一覧表に調整タイムを位置付け，重要語句，ルーブリックなどを明記することで，理解不足の点やさらに調べたい内容を捉えやすくした。

＜子供が取り組んだ主な調整タイムの内容の分類＞
- (1)　自分の問い
- (2)　教師からの問い
- (3)　授業で詳しく調べられなかった内容
- (4)　授業で理解不足の内容
- (5)　単元全体をまとめる内容

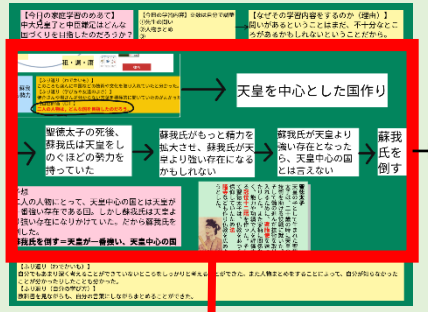
【今日の家庭学習のめあて】大仏を作り国家の安全を祈る思いは，当時どんな社会の様子だったからなのだろうか。
【今日の学習内容】※数は自分で調整 ①何年ごろ ②出来事 ③人々の暮らし ④道具 ⑤まとめ
→【なぜその学習内容をするのか（理由）】授業で国の安全を祈るために大仏を作ったと習いましたが，なぜ国の安全を祈りたかったのか疑問に思ったからです。

【自分の問いをもとにしためあて・学習内容・理由】

【今日の家庭学習のめあて】中大兄皇子と中臣鎌足はどんな国づくりを目指したのだろうか？
【今日の学習内容】※数は自分で調整 ①先生の問い ②人物まとめ ③ ④
→【なぜその学習内容をするのか（理由）】問いがあるということはまだ，不十分なところがあるかもしれないということだから。

【教師からの問いをもとにしためあて・学習内容・理由】

【今日の家庭学習のめあて】どう変わっていたのかをまとめよう。
【今日の学習内容】※数は自分で調整 ①まとめる（どう変わっていたのか）
→【なぜその学習内容をするのか（理由）】まとめたほうがどう変わっていったのかなというのがわかるから。



子供が自分で構成するスペース

＜テキストの工夫＞
- ・めあて
- ・学習内容
- ・その学習を行う理由
- ・振り返り

【ふり返り（わてかいも）】
自分でどのようなことがあったのか調べたり，なぜそのようになったのかなどを詳しく調べ，自分の疑問に対する答えを見つけることができました。疫病が流行っていたり，反乱がおきていたから祈りをささげるために大仏を建てたということが分かりました。
【ふり返り（自分の学び方）】
この自分で問いを見出して，自分で調べて，自分でまとめるという勉強方法はすごく頭に入りやすい勉強方法だと思いました。

【ふり返り（わてかいも）】
蘇我氏を倒し新しい政治が進み，聖徳太子の思いは妨がれてはいったものの農民の暮らしが悪化していったので，これが聖徳太子の本当の思いだったのかが疑問に思った。次の学習問題のまとめが終わった後に，もっと調べてみたくなった。
【ふり返り（自分の学び方）】
授業とちがう目線で学習していくことで，新しく気づいたことや疑問などが生まれてきて『目線を変えて学習することっていいことなんだな』と思いました。

【ふり返り（わてかいも）】
学校で学ぶ時間でまとめることができなかったから理解できた部分が少し足りなかったけど，今日の家庭学習で空欄をなくして理解できたところの部分を増やすことができました。これからは，学校の学ぶ時間内に空欄をなくして理解できた部分を増やしたいです。
【ふり返り（自分の学び方）】
学校の学ぶ時間以内に終わらせることができないことが今までにたくさんあったけど，今日の家庭学習の学び方をして，とてもよかったです。家で1人で学んでみて，はやめのスピードで学習を進めることができたり，集中をすることができました。なので，学校では1人で学んだり友達と学んだりするのもいいなと思いました。

【調整タイム振り返り】